

令和3年度富山県水墨美術館常設展示リスト

【近代水墨画の系譜】（令和3年度第4期 1／4～）

この展示室では、近代以降の日本の水墨画を紹介します。代表的な画家たちによる水墨表現を通して、時代を超えて受け継がれる水墨画の深奥な精神性に満ちた世界をご鑑賞ください。
今期は冬から春にかけての季節の移ろいをテーマに展示しています。冬の雪景、梅や桜といった春の訪れを告げる花々を描いた作品を、当館の庭園とあわせてお楽しみください。また「ひらけ墨画ワールド」展の出品作家・尾長良範氏とおなじく富山県出身の作家たちの作品もご覧ください。

No.	作家名	生年	没年	作品名	材質技法・形状	サイズ（縦×横cm） （高さ×幅×奥行）
		生地	没地			
1	岸駒 <small>がんく</small>	寛延2 (1749) または 宝暦6 (1756)	天保9 (1838)	獅子図・虎図	紙本金地墨画・屏風六曲一 双 (展示は左隻のみ)	168.0 × 387.5
	岸岱 <small>がんだい</small>	天明5年 (1785)	元治2 (1865)	天保4 (1833) 年		
2	川合 玉堂 <small>かわい ぎよくどう</small>	明治6年 (1873)	昭和32 (1957)	溪村雪霽図	紙本墨画淡彩・軸装	163.0 × 57.0
		愛知県	東京都	大正14 (1925) 年頃		
3	菱田 春草 <small>ひしだ しゅうそう</small>	明治7年 (1874)	明治44 (1911)	四季山水 春・冬	紙本墨画淡彩・軸装 (四幅対のうち二幅)	各 46.5 × 69.3
		長野県	東京都	明治29 (1896) 年頃		
4	横山 大観 <small>よこやま たいかん</small>	明治元年 (1868)	昭和33 (1958)	立山遠望	絹本墨画淡彩・軸装	120.0 × 49.0
		茨城県	東京都	明治35 (1902) 年頃		
5	小野 竹喬 <small>おの ちつきょう</small>	明治22年 (1889)	昭和54 (1979)	山景春秋	紙本墨画淡彩・軸装 (双幅のうち一幅)	127.0 × 58.8
		岡山県	京都府	大正13 (1924) 年		
6	奥村 土牛 <small>おくむら とぎゅう</small>	明治22 (1889)	平成2 (1990)	巢籠	紙本墨画淡彩・軸装	61.8 × 84.3
		東京都	東京都	昭和16 (1941) 年		
7	齋藤 清策 <small>さいとう せいさく</small>	大正9 (1920)	平成21 (2009)	梅と雉	紙本着彩・屏風六曲一 双	各 170.0 × 360.0
		富山県	富山県	平成18 (2006) 年		
8	大島 秀信 <small>おおしま ひでのぶ</small>	昭和3 (1928)	平成26 (2014)	粉雪降る	紙本着彩・額装	168.0 × 218.0
		富山県	富山県	平成19 (2007) 年		
9	田淵 俊夫 <small>たぶち としお</small>	昭和16 (1941)		雪図	紙本墨画・屏風四曲一 隻	171.0 × 364.0
		東京都		平成13 (2001) 年		
10	中島 千波 <small>なかじま ちなみ</small>	昭和20 (1945)		朧紅枝垂桜	紙本着彩・額装	116.0 × 162.0
		長野県		平成30 (2018) 年		
11	篁 牛人 <small>たかむら ぎゅうじん</small>	明治34 (1901)	昭和59 (1984)	仙女図	紙本墨画・軸装	146.8 × 34.3
		富山県	富山県	昭和40年代初期 (1965~74)		
12	篁 牛人 <small>たかむら ぎゅうじん</small>	明治34 (1901)	昭和59 (1984)	虎図	紙本墨画着彩・軸装	133.4 × 66.8
		富山県	富山県	昭和24 (1949) 年頃		
13	尾長 保 <small>おなが たもつ</small>	昭和7 (1932)		記憶の渚	漆・木パネル	200.0 × 100.0
		富山県		平成10 (1998) 年		
14	尾長 保 <small>おなが たもつ</small>	昭和7 (1932)		連作 記憶の渚	漆・木パネル	200.0 × 100.0
		富山県		平成12 (2000) 年		
15	石黒 宗麿 <small>いしぐろ むねまる</small>	明治26 (1893)	昭和43 (1968)	緑釉壺	鉄釉陶器	25.0 × 20.0 × 20.0
		富山県	京都府	昭和25~30 (1950~55) 年		
16	大澤 光民 <small>おおざわ こうみん</small>	昭和16 (1931)		铸ぐるみ铸銅花器「薫風」	铸ぐるみ铸銅花器	27.0 × 41.0 × 11.0
		富山県		平成16 (2004) 年		
17	畠 米次郎 <small>はた よねじろう</small>	明治15 (1882)	昭和48 (1973)	阿弥陀堂鉄瓶	鉄瓶	15.5 × 18.2 × 23.5
		富山県	富山県	制作年不詳		

令和3年度富山県水墨美術館常設展示リスト

【下保昭作品室】（令和3年度第4期 1／4～）

下保昭（かほ あきら・昭和2（1927）年～平成30（2018）年）は砺波市に生まれ、京都に移り、本格的に日本画の制作に取り組みました。昭和50年代後半からは墨の魅力にひかれて独創的な水墨山水画を描くに至り、自然界のエネルギーを東洋的な無常観の世界に昇華させた、精神性の高い作風を確立しました。

今期は、中国を流れる2つの川・長江と瀧江を描いた作品を中心にをご紹介します。昭和57（1982）年、作家仲間とともに中国を旅した下保は、瀧江流域の桂林をはじめとする中国の奇景に驚嘆したといいます。同じモチーフを描いても少しずつ異なる表現は、下保独自の水墨山水の追求といえるでしょう。

No.	作品名	制作年	材質技法・形状	サイズ（縦×横cm）
1	長江満月 ちょうこうまんげつ	平成3（1991）年	紙本墨画着色・8枚パネル	179.0 × 744.0
2	オランダの商館 おらんだのしょうかん	昭和27（1952）年	紙本着彩・額装	120.0 × 208.0
3	長江朝靄 ちょうこうちょうあい	昭和63（1988）年	紙本墨画・軸装	19.7 × 43.0
4	瀧江清晨 りこうせいしん	昭和60（1985）年	紙本着彩・額装	97.0 × 145.5
5	瀧江暁来 りこうぎょうらい	昭和58（1983）年	紙本墨画・額装	35.0 × 52.0
6	瀧江空濛 りこうくうもう	昭和58（1983）年	紙本墨画・額装	52.0 × 35.0
7	瀧江空濛 りこうくうもう	昭和58（1983）年	紙本墨画・額装	52.0 × 34.5
8	瀧江空濛 りこうくうもう	昭和60（1985）年	紙本墨画・額装	42.5 × 69.0
9	瀧江泛舟 りこうはんしゅう	昭和60（1985）年	紙本墨画・額装	43.0 × 70.0